

2年「いのちのたんじょう」

	書名	著者名	出版社	内容
1	いのちのまつり	草場一壽 作 平安座資尚 絵	サンマーク出版	おきなわに住むコウちゃんに、おばあちゃんがたずねた。「ぼうやに命をくれたのは誰じゃね～？」そして、「命をくれた人を、ご先祖様と言うんだよ。」とも、教えてくれた。ご先祖様って一体何人いるのだろう。ずっと昔から続いてきた命。命のつながりはふしぎだ。
2	あかちゃんのゆりかご	レベッカ・ボンド 作 さくまゆみこ 訳	偕成社	生まれてくる赤ちゃんのために、お父さんがゆりかごを作った。かぞくがそれぞれに作業をして、ようやく完成。あたたかい絵でゆったりとした時間とかぞくのあいじょうを描いたアメリカの絵本。
3	生まれてきてくれてありがとう	鈴木せい子 文 立花千栄子 絵	ぱすてる書房	ともちゃんのお母さんに、もうすぐ赤ちゃんが生まれる。「早く赤ちゃんに会いたいな。」みんなで新しいかぞくを迎えるたんじょうの場面を、上の子どもの心の変化にしょうてんをあてて、描いた絵本。
4	ぼくがあかちゃんだったとき	浜田桂子 作・絵	教育画劇	今日は、ぼくの6才のたんじょう日。お父さんはぼくをひざの上にのせて、ぼくが赤ちゃんだった時の話をしたよ。生まれたばかりのぼく、おっぱいを飲むぼく、熱を出したぼく、初めて立ったぼく、…。赤ちゃんだったぼくって、どんなだったのかな？
5	うまれて きてくれて ありがとう	にしもとよう 文 黒井健 絵	童心社	ぼく、ママをさがしているの。神さまがね、生まれていいよって言ってくれたから…。生まれてくる子どもが抱いているママへの気持ちを描く、かけがえのない命の誕生を喜びあう物語。